

# VMware Workspace ONE Intelligence

## Q：Workspace ONE Intelligence について教えてください

A：VMware Workspace ONE™ Intelligence は、Workspace ONE 環境向けのサービスです。高度な可視化ツールとオートメーションにより、正確な情報源から得たデータに基づく意思決定を支援します。

また、デバイス、アプリケーション、ユーザーのデータの集約、分析、関連付けを通して、デジタルワークスペース環境全体の KPI を迅速にそして規模に関係なく、さまざまな方法でのフィルタリングと表示を可能にします。

重要な情報が Workspace ONE Intelligence によって表示された場合、IT 管理者は組み込みの意思決定エンジンを使用することで、さまざまなパラメーターに基づいた処理を実行するルールを自動化できます。

## Q：Workspace ONE Intelligence は「クラウド限定」のサービスですか？

A：Workspace ONE Intelligence は、クラウドのスピードと規模を活用するサービスです。クラウドとオンプレミスでの Workspace ONE 環境で、インサイトの統合化と強力なオートメーションを可能にします。オンプレミスのお客様は、このサービスをオプションで利用できます。その場合、Workspace ONE Intelligence Connector を使用して、Workspace ONE のオンプレミス コンソールを Workspace ONE Intelligence サービスに接続しますが、Workspace ONE Intelligence Connector がオンプレミス環境にインストールされている必要があります。

## Q：Workspace ONE Intelligence サービスにはどのようにアクセスするのですか？

A：Workspace ONE をご利用のお客様は、新しいタブで、通常の Workspace ONE コンソールから Workspace ONE Intelligence サービスにアクセスできます。

## Q：Workspace ONE Intelligence はだれが利用できますか？

A：Workspace ONE のお客様は Workspace ONE Intelligence サービスをご利用いただけます。Workspace ONE Intelligence は、Workspace ONE Cloud の特定のエディションの一部として提供されており、Workspace ONE のオンプレミスのエディションに対するアドオンとしてご購入いただくこともできます。

## Q：Workspace ONE Intelligence にはどのような機能が含まれていますか？

A：Workspace ONE Intelligence は、主に 3 つの点で Workspace ONE プラットフォームを強化、補完、拡張します。

- 統合化されたインサイト：事前設定済みダッシュボードとカスタム レポート
- アプリケーションの分析：アプリケーションのパフォーマンスや使用状況、ユーザーの振る舞い
- 強力なオートメーション：環境全体でアクションを自動化できる新しい意思決定エンジン

これらの機能を組み合わせることで、ユーザーの使用環境を犠牲にすることなく複雑さとセキュリティを管理できます。

## Q：Workspace ONE Intelligence のレポート機能について教えてください

A：Workspace ONE Intelligence では、事前設定済みのレポートによって、一般的なクエリを確認できます。また、カスタム レポートを作成することで環境全体の履歴データを詳しく確認したり、カスタム レポートの作成のスケジュールを設定したりすることも可能です。また、レポートのライブ プレビュー機能によって、レポート全体を作成する前に結果を確認することも可能です。レポートの作成には、クエリの範囲により異なりますが、数秒から数分かかります。また、作成したレポートは CSV 形式でエクスポートできます。レポートはリンクを使用して組織内で容易に共有できるため、メールで送信するときのようにファイルサイズの制限を考慮する必要はありません。

## Q：Workspace ONE Intelligence のダッシュボード機能について教えてください

A：Workspace ONE Intelligence では、事前設定済みダッシュボードで環境全体の重要なデータポイントを可視化でき、セキュリティ リスク、デバイスの登録、アプリケーションの導入、Windows の脆弱性、バージョン管理などを表示できます。また、ダッシュボードをニーズに合わせて柔軟にカスタマイズすることも可能です。

**Q：Workspace ONE Intelligence のアプリケーション分析機能について教えてください**

**A：**Workspace ONE Intelligence は、包括的なアプリケーションの分析機能を備えており、アプリケーションのロード、インストール、1日のアクティブ ユーザー数、月間のアクティブ ユーザー数などの情報にコンソールから直接アクセスすることが可能です。また、Aptelligent の機能も備えており、モバイル アプリのパフォーマンス、アプリケーションの導入と使用状況、ユーザーの振る舞いを監視できます。Aptelligent は、デバイス、ネットワーク、オペレーティング システム、位置情報、接続状態、アプリケーションのバージョンを問わず、モバイル アプリの利用状況を継続的に監視します。Workspace ONE Intelligence と Aptelligent によって、モバイル アプリの展開や使用状況に対するパフォーマンスの影響を容易に分析して定量化できます。

**Q：Workspace ONE Intelligence のオートメーション機能について教えてください**

**A：**Workspace ONE Intelligence のルール エンジンを利用することで、環境全体から取得できる多数のパラメーター（約 200）に基づいた処理を実行するルールを定義することで、IT の運用とセキュリティのプロセスを自動化できます。コンテキストベースの処理は、組織全体の効率性を向上させ、複雑さと手作業による負担を大幅に軽減します。また、コンテキストベースの自動修正の処理を実行するポリシーを容易に作成することで、ユーザーの使用環境、運用効率、セキュリティを改善できます。ServiceNow、Slack または REST API をサポートするサードパーティのサービスなど、業務に必要なサードパーティ サービスまで拡張できるワークフローを自動化することで、個別の環境に最適なコンテキストベースのポリシーを作成します。

**Q：Workspace ONE Intelligence のユースケースにはどのようなものがありますか？**

**A：**Workspace ONE Intelligence の主なユースケースは次のとおりです。

- ユーザーの使用環境に悪影響を及ぼすパフォーマンス上の問題について、モバイル開発チームとモバイル製品のプロダクトマネージャが優先順位を付け、最終的に解決できるようにすることで、従業員向けアプリケーションのユーザーの使用環境を向上させることができます。
- アプリケーションのパフォーマンスや使用状況、ユーザーの振る舞いを監視することで、エンド ユーザーが最善のアプリケーション使用環境を利用できるようにして、エンド ユーザー向けアプリケーションの使用環境を向上させることもできます。
- デバイスとアプリケーションの長期間にわたる使用状況について詳細な情報を提供することで、リソースの最適化が可能のほか、統合化されたインサイトと自動化の機能を用いて環境全体のセキュリティ対策を改善することで、セキュリティとコンプライアンスを強化できます。

**Q：Workspace ONE Intelligence のライセンスはどのように付与されますか？**

**A：**Workspace ONE Intelligence のライセンスは、ユーザー単位またはデバイス単位です。年間サブスクリプションの一部としてご利用いただけます。

**Q：Workspace ONE 環境の一部で使用するために Workspace ONE Intelligence を購入できますか？**

**A：**Workspace ONE Intelligence は、Workspace ONE 環境全体を対象としてご購入いただく必要があります。

